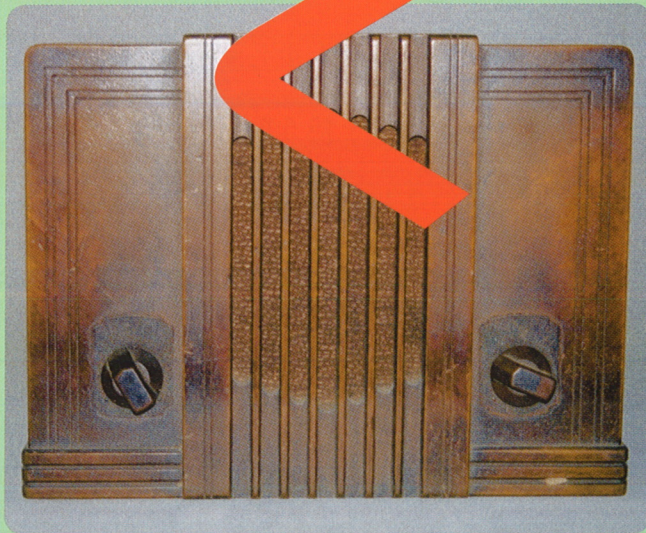


ちよみ

るつと昔の道具たち

きく



ちよみ

柏原市立歴史資料館

会期 2006年1月11日(水) ~ 3月5日(日)

開館時間 9:30 ~ 16:30

休館日 月曜日

入館料 無料

交通 JR大和路線高井田駅から徒歩5分
近鉄大阪線河内国分駅から徒歩15分

大阪府柏原市高井田1598-1 TEL0729-76-3430

体験教室 「わらぞうりを作ろう」

2月5日(日) 13:00 ~ 16:00

定員 15名 参加無料

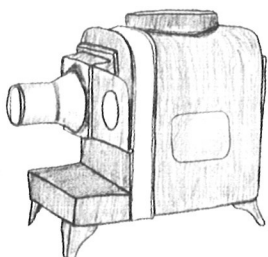
電話で資料館まで申し込んでください

人は見たり聞いたりすることによって、いろいろなことを知ることができます。そのため、昔から見る^{むかし}道具、聞く^{どうぐ}道具はたくさんあり、それらを使いやすいようにくふうして使ってきました。これらの見る道具、聞く道具は、わたしたちの生活をゆたかにしてくれます。そして、道具のうつりかわりは、生活のうつりかわりでもありました。今の道具とくらべて、昔の人がどんな生活をしていたのか考えてみましょう。

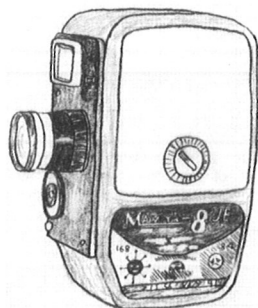
みる

見る^{どうぐ}道具として、鏡、時計、カメラ^{しゃしん}(写真)、
 幻燈器^{げんとうき}、日光写真^{にっこうしゃしん}、8ミリ^{さつえいき}撮影機・映写機^{えいしゃき}な
 どを展示しています。

最近^{さいきん}ではデジタルカメラが使われるようになり、フィルムも少しずつ減ってきていますが、フィルムを使う前は、ガラスに^{しゃしん}写真をうつしていました。これをガラス乾板^{かんばん}といいます。これを^{げんぞう}現像した^{しゃしん}写真も^{てんじ}展示しています。
 幻燈器^{げんとうき}は、ガラスにかいた^{もじ}絵や文字に光をあて、レンズを通して大きくうつすしくみです。今のスライドと同じです。ガラスを^{たねいた}種板といい、ここでは「カチカチ山」と「^{はなさ}花咲かじいさん」の^{たねいた}種板を^{てんじ}展示し、「カチカチ山」は大きくしてお話しものせました。



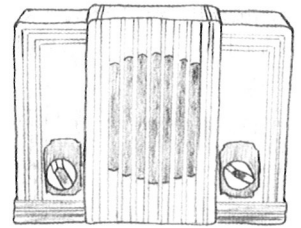
げんとうき
幻燈器



さつえいき
8ミリ撮影機



ちくおんき
蓄音機



ラジオ

きく

聞く^{どうぐ}道具として、オルガン、太鼓、豆腐屋^{たうふや}
 の鐘、電話、蓄音器^{ちくおんき}、レコード、ラジオ、テ
 ープレコーダーなどを^{てんじ}展示しています。
 楽器^{がっき}、音楽を聞くための道具、遠くの人と
 通信^{つうしん}するための道具、記録をとるための道具
 などが中心です。音楽を聞くのはレコードか
 らCDに^か変わり、それを^{きろく}記録するための道具
 もオープンリールのテープからカセットテ
 ープ、MD、そしてHDへと^{へんか}変化しています。

これらの道具はわたしたちのまわりにたく
 さんありますが、どんどん^{へんか}変化し、つぎつぎ
 と新しいものが作られています。新しいもの
 もいいのですが、古いものの良^{わす}さも忘れたく
 ないものです。